

わいがやサロン通信

号外

2022.4

善光寺御開帳
2022

第十回

はな
な
ゆ
う
ほ

花遊歩

日本一の門前町大縁日

オープニングパレード

report

NUPRIが賑わいの街づくりの「環」として

2012年に始めた「花遊歩」――

今回はコロナ禍により1年延期された

善光寺御開帳に合わせて、

長野駅から善光寺までの市街地を

牛に引かれて
善光寺参り

市民参加の各種イベントで盛り上げる

「日本一の門前町大縁日」の

オープニングパレードを先導する

牛に引かれて和装の女性たちが

表参道を練り歩きました。



■開催日/2022年4月2日(土)
■主催/日本一の門前町大縁日実行委員会

■イベント運営/NPO法人NUPRI長野都市経営研究所
■花遊歩参加者/50人(パレード総勢:約700人)



春到来といえどまだ桜の蕾堅い北信濃の卯月2日9時前、長野駅善光寺口に「花遊歩」の幟が立ちました。きもの姿の女性たちが受付で体温を測り、かつ設間をクリア。集まった50人のうち最年少は伯母上と幼稚園児のころから参加してきた姪御さん。何と新学期から小6になるそうで、まさしく光陰矢の如し、当イベントの来し方と重ねたことでした。

やがて駅前広場で「日本一の門前町大緑日」（4/26）オープニングパレード出発式（9時半）／真田勝関太鼓／大緑日実行委員長・荻原健司長野市長挨拶）が行われた後、一同は末広町交差点手前に移って整列、警察音楽隊の演奏を合図に牛とつながる紅白の綱を手に歩み始めました。

沿道は既に人でいっぱい、と見えたのは大緑日会期中に行われる街角アート&ミュージックなどに出る市民たちがパレードに後続するべく待機していたのでした。きもの姿もいて、お揃いの柄は踊りや民謡チーム、色無地を着ているのは茶道会の方々のようなです。

列が進むにつれ、日差しは温かくなり、家族連れや観光客らしき人も増え、イベント係員が配る「大緑日」の手旗を振ってくれます。そんななか注目の声が上がるのは、やはり本物の牛に対して。「『牛に引かれて善光寺参り』の故事にちなんで…」と羽織袴姿の鈴木隆治NUPRI事務局次長がアピールすれば、「へえ〜」「なるほど」とカメラやスマホを向ける方も。

新田町交差点を過ぎ、善光寺が大分近づいて見えてきました。が、パレードはセントラルスタウエアが終点。「花遊歩」チームはそこでのオープニングセレモニーに参列することになっています。11時、到着。千曲市から馳せ参じてくれた牛さんもご苦労様でした（信花は楽隊の音が鳴り響く大規模イベントは初めてだったので無事に務めを果たせ、牛スタッフの皆さん、ほっとしたそうです）。

セレモニーでは市長の「今日は善光寺さんがずっと目の前に見え、そこに行く时必须御利益があると



感じながら歩きました。会期中のさまざまなイベントからご縁がたくさん生まれますように」との言葉に続いて善光寺御開帳奉賛会代表・北村正博長野商工会議所会頭が「長野に行ったら何かやっている、歩く面白〜い、楽しい、と思ってもらえたら…」と、大緑日立ち上げの言と期間中の安心安全祈願を述べました。

「花遊歩」スケジュールの締めはオリンピックである市長との記念撮影会です。長野オリンピックモニュメントの前で一人ずつ一緒にカメラに納まりました。おしまいはスタッフ・事務局メンバーも加わって「はい、チーズ」。

今回の「花遊歩」は感染予防の見地からワークシヨップ等は催さず、参加募集は県内のみとしましたが、参加者はどんな感想をもったでしょうか。一部紹介します。

○参加を申し込んだときから何を着ようかと心が弾んだ。自粛が長く続き、出かけることを渴望していたのだと思う。

○きものが好きなので今回も参加。他の人の装い方を見て勉強になる。

○振袖の袖を切つてリメイクしたらコロナが始まってしまった。着付け教室仲間に誘われ初参加の今日、やっと着られて嬉しい。

○年を取つたら、きれいな色が着たくなり、子どもの小学校入学式の時に作った桜色の絞りを何十年かぶりに着てみた。思い出をなぞれ、また新しい思い出ができた。

○長野では冠婚葬祭以外で着ていると周囲から冷たい目を感じることも。コロナ前には、それにめげず大丈夫そうな（?!）催しに寂聴さんの講演会等に着て行つた。「花遊歩」がまた開催されるなら、ぜひ参加したい。

こうして令和になって初めて行われた「花遊歩」は終了。各々で善光寺参りもよし、自由解散しました。